

平成28年度 第1回香美町総合教育会議 議事録

【日 時】

平成29年2月17日（金）午後4時00分開会

【場 所】

香美町役場2階第2会議室（香美町香住区香住870番地の1）

【出席者】

町 長 浜上 勇人
教 育 長 朝倉 寿文
教育委員 山崎 つるみ
教育委員 安田 優二
教育委員 野村 道彦
教育委員 吉田 加代子

事 務 局	教育総務課長	西村 吉弘
	生涯学習課長	岸本 典明
	教育企画研修室長	水垣 清和
	こども教育課主幹	邊見 穰
	教育総務課主査	大城 優
	教育総務課主事	吉田 徹

【欠席者】

なし

【協議事項】

- (1) 大綱の変更について
- (2) その他

【議事要旨】

1 開会

(事務局)

定刻になりましたので、ただいまから平成28年度第1回香美町総合教育会議を開催いたします。

初めに、浜上町長からあいさつをいただきます。

2 あいさつ

(浜上町長)

皆さんこんにちは。たいへんな大雪でございましたけれど、ここ2、3日緩みましてありがたいと思っております。ボランティアセンターの皆さん、県民局の職員の皆さんが、香美町に除雪のボランティアに来ていただくという連絡もいただきました。また、本日は、新年度予算についての記者発表を行い、香美町総合戦略、あるいは第2次総合計画に沿った若者定住、子育て支援を基調とした予算配分にしたことを記者の皆さんに発表をいたしました。

平成29年度から、今まで続けておりました、中学生までの医療費の無料化に加え、18歳までの医療費の無料化にも踏みきることにいたしました。保育料につきましても、国基準の約3割程度の減免をしているところを5割程度まで引き下げるなど、さらなる子育て支援に重点に置いた予算編成としたところです。

公共施設の公共的団体の使用料につきましても、原則100%無料にさせていただきました。さまざまな形で産業振興も含めて、刷新、拡充してきたつもりでございます。

また、繰上償還や学校施設の耐震化が完了しまして、いままでかけておりました費用が少しやわらぎました。予算の総額は少し減っておりますけれども、直接町民の皆様に関係する予算は増やしたつもりでございます。

今日は第1回目の総合教育会議ということで、「大綱の変更について」が主な議題でございます。よろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。それでは、協議事項に入りたいと思います。ここか

らは、浜上町長に進行の方をお願いします。

3 協議事項

(1) 第2次香美町総合計画について

(浜上町長)

それでは、日程第3に入りたいと思います。まず、先ほど申し上げました、協議事項の「教育の大綱の変更について」でございます。

大綱につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3におきまして、町長が教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めるものとされております。

本町におきましては、平成23年12月に教育の目標や施策の根本となる方針を定めた「香美町教育振興基本計画」を策定していただいております。昨年5月の本会議において、これを大綱として位置づけてまいりました。

教育振興基本計画の前期5年が経過するに当たり、基本目標を踏まえて、昨年12月「教育振興基本計画 後期計画」を策定していただいております。

つきましては、こちらを、大綱として変更したいと考えております。なにかご意見等ございませんか。

<意見等なし>

ご意見がないようですので、「香美町教育振興基本計画 後期計画」を本町の大綱に変更することといたします。

(2) その他

(浜上町長)

つづきまして、協議事項の2、その他ですが、平成29年度の教育関係の主要な事業についてご説明いたします。

本町では、就学前教育の充実、学校教育の充実、青少年の健全育成、生涯学習の推進、スポーツの推進、文化の創生など教育関係全般にわたり、「まちづくりはひとづくり」を基本としさまざまな角度から取組を進めていくこととしていま

す。本日は一般会計予算の主要な事業として、教育委員会関係分の一覧表をつけさせていただきました。こちらについては、教育総務課長に説明させますのでよろしくお願いいたします。

(西村課長)

それでは、本日お配りしております、一般会計の主要な事業の一覧表をもとにご説明いたします。一般会計の解禁が20日になっております。こちらは、教育委員会の関係分として抜粋をさせていただいたものでございますので、取り扱いについては、ご留意いただきますようお願いいたします。

教育委員会の関係につきましては「ふるさとを担う子どもを育む町」を念頭においた予算組み、事業化をさせていただいております。まず、「次代を担う子どもたちを育む町」ということで、「子育て支援推進」につきましては、保育所の運営、子育て支援センターの関係の予算をあげております。この中では、保育料を国基準の3割から5割軽減を図っているということが、これまでから拡充された部分でございます。その他の事業につきましては、これまでどおり、継続をさせていただきます。

「学校教育の充実」では小学校、中学校、幼稚園の予算をあげさせていただいており、小学校、中学校で、保護者の負担軽減を考慮したものをあげております。小学校と中学校の郊外活動や部活動で県大会や全国大会等へ出場される場合の出場経費について、これまでは、町から80%程度を補助させていただいており、残りの20%程度につきましては、保護者にご負担いただいております。これにつきまして、保護者の負担を少しでも軽くするよう、補助対象経費の100%を町から補助させていただくことにいたしました。その他につきましては、小学校の営繕やコンピュータ関係、スクールアシスタントの関係など、中学校ではこのほかにALT配置や遠距離通学生の援助ということで、自転車通学の中学生の自転車購入費に対する補助の補助率を上げさせていただきました。

次に中学校の施設整備の中で、学校施設の耐震化につきましては、平成28年度をもって100%となりました。今後は、施設の老朽化に伴う改修が主になってまいります。平成29年度につきましては、村岡中学校の大規模改修を行う予定にしております。また、香住第二中学校の体育館につきましても、大規模改修に

向けた調査ということで、実施設計をさせていただき予定にしております。

幼稚園につきましては、これまで通り運営をさせていただきます。

その他では、高等学校生徒下宿費補助ということで、村岡高校、香住高校の生徒が下宿した場合に補助を行っており、平成29年度は35名を予定しております。

生涯学習の予算でございますが、公民館の公共的団体の使用につきましては無料としたいと考えております。公民館施設の関係では、香住区中央公民館の大規模改修、香住地区公民館の屋上改修、射添地区公民館の屋上防水工事など、老朽化している公民館の改修工事のため、かなりの予算をつけております。

スポーツの推進の関係ですが、オリンピック、パラリンピックの事前キャンプ誘致を昨年から進めており、事業の展開を図ってまいります。さらに、ワールドマスターズゲームのオリエンテーリングの開催地に香美町が決定しましたので、開催に向けての準備を整えていくための予算をつけております。

その他の事業につきましても従前の事業の継続を行っていくということで考えております。

教育関係の主な事業について、説明をさせていただきました。

(浜上町長)

ただいま西村課長から平成29年度の教育関係の予算について説明をいたしました。委員の皆さんから質問、意見等ございませんでしょうか。

<意見等なし>

(浜上町長)

公共施設の使用料につきましては、年間の公共施設の利用料の総額が30万円程度ということのを考慮し、無料化するという判断をいたしました。今後、利用料をいただく一般の団体と、いただかない公共的団体との基準の明確化を図ります。

また、保育料の軽減については予算のボリューム的にいいますと、国基準の3割軽減をしているとっていますが、実際は4割近い軽減をしています。今度5割軽減をするとすると、高校生までの医療費の無料化よりも予算を使うことにな

ります。加えて係るシステムの改修と合わすと1,400万円くらいになり、大きな支出になります。さらに、高校生までの医療費の無料化は1,000万円くらいかかり、両方あわせると2,000万円以上かかります。しかし、子育て支援に力を入れていくために、今後、これは基金を取り崩しても続けていかなければならないと考えております。当初はどちらかにするということでありましたが、両方させていただくことにいたしました。

オリンピックの事前キャンプにつきましては、招致に向け、岸本課長他2名をフランスに行かれます。さらに4月以降には、ニュージーランドにマスターズゲームのオリエンテーリングの視察にも行かれます。オリンピックの事前キャンプの誘致はかなりハードルが高いですが、実現したいと考えております。

教育委員会でも、少しずつ、予算の拡充・改善ができたと考えております。

委員の皆様から平成29年度の予算のことで何かご質問はございませんか。

(野村委員)

若者の定住支援や子育て支援、あるいは高校生の医療費の無料化を拡充していただいたということは、将来、若い方が住んで子育てを促進するということから非常にありがたいと思って聞かせていただきました。なかなか将来に向けて、予算を組んでいくのは難しいと思いますが、若者定住というのは大切なことだと思いますので、継続していただきたいと考えます。

(浜上町長)

豊岡市は中学生までの医療費の無料化をしておりません。それでも、香美町から豊岡市への移動がございました。保育料の軽減、高校生までの医療費の無料化をすれば、若者が移住定住していただけるのかは、今後の推進にかかっていると考えます。

高校生までの入院、外来などすべての医療費の無料化について、兵庫県41市町村でできているのは、現在小野市だけです。香美町に住むと18歳までは医療費がかからないということを町民の皆さんに実感していただければ、少しずつでも、若者が町にとどまり、子育てをしていただけたらと思います。

保育料の5割軽減については、1、2年ではやめません。今生まれたばかりの

赤ちゃんがいる世代や、これから保育所に通わせようとしている世代の方は、保育料の軽減だけにとどまらず、高校生の医療費の無料化も行われれば、これから10数年先まで香美町で子育てをするプランが立てられると思います。「香美町は保育料も国基準の半額で、18歳までの医療費も無料である。子育ては香美町でしよう」と長期での目標をもってもらえると考えております。

次は、高校生の下宿費の補助についてです。香美町内の高等学校の存続発展と地域の活性化のために補助を行っており、来年度の予算で約1,600万円を組んでおります。ありがたいことに、香住高校に男女共用の100人規模の寮を5億円かけて建てていただくことになりました。香美町も寮に入るための町道を作るために、土地を買収しており、土地の買収費も町が持っております。完成すると香住高校への下宿費の補助はなくなります。しかし、村岡高校に寮を建設してもらうことは難しいように思います。

ここ近年では学校の耐震化に約60億円をかけており、その費用負担が3、4年先に現れてきます。今後の財政状況の健全化が課題だと思っております。

また、山崎委員と森脇前教育長から幼稚園教諭の拡充という意見をいただきましたので、人員の配置には気をつけております。臨時職員と嘱託職員でも合併以降に採用した嘱託職員は年末の一時金を出していないなど、待遇にも大きな差がありました。そんな中で、わずかでも待遇改善をするために、昨年12月に条例改正をして、正職員にはできないけれど、一時金を6月と12月に給与の1か月分くらいを出せるようにしました。しかし、これによって来年度から毎年3,000万円が必ずかかるようになることも、今後の課題といえます。

教育委員の皆さんから、教育全般に関わることで何かございませんか。

(朝倉教育長)

英語の教育が、3、4年生で週1時間、5、6年生で週2時間入ってくるという中で、教職員も英語の研修をしなければならないと思っております。専門的に英語の話せるALTなどが、町内のボランティアで参加しようというような姿が見えればいいなという思いがしています。

今度、村岡区祖岡に移住してこられる方は、ALTの経験、大学の非常勤講師

の経験も相当あり、本人も香美町で役に立つことがあれば、お手伝いさせてほしいとのことと聞いております。臨時的に任用するなど、できるだけ子どもたちの学力を高めたいと思っております。なかなか人材の確保は難しいですが、何とか子どもたちに社会の新しい流れを入れていきたいと思っております。

それでは、以上で意見交換も終わらせていただきまして、協議事項を終了させていただきます。後は事務局にお返しします。

4 閉会

(事務局)

短い時間でしたが、慎重なご協議ありがとうございました。次の会議につきましては、平成29年度に1回または2回の開催を予定しております。日程につきましては、再度調整をさせていただいて開催をしたいと思っております。

それでは、本日の総合教育会議を閉会といたします。本日はどうもありがとうございました。